

海外市場向け商品改良

株式会社海邦商事 (沖縄県)

黒糖加工品の製造、販売

1. 相談のきっかけ

- ・以前から海外展開に向けた各種相談を受けていた。
- ・台湾、中国、香港、シンガポール向けに商品パッケージの表示を多言語化したい。
- ・変更内容や使用する言語(簡体字、繁体字)、翻訳等をどのように進めればよいか。

2. 課題整理・分析

- ・中国語は簡体字、繁体字のほか、中国本土、香港、台湾の三地域とも表現方法が異なる。“台湾向け商品”は中国、香港でも比較的受入れられやすい。香港、シンガポールは英語が公用語となっている。
- ・商品知識がない翻訳会社では、訳した表現が適切ではない事例が多々見受けられるため、翻訳は商品知識を十分に有している方に依頼する方が良い。

3. 解決策の提案

- ・パッケージ面積に限りがあるため、中国台湾向けは台湾語、繁体字表記、香港、シンガポールは英語表記で対応することを提案。
- ・中国語訳は取引先である(株)沖縄物産企業連合台湾営業所へ依頼すること、英語訳は自身の翻訳にネイティブチェックを入れて対応することを提案。
- ・海外向けの商品改良は沖縄県の補助が得られるため、沖縄県産業振興公社担当部署を紹介した。



4. 成果

- ・現在、具体的にパッケージに記載する翻訳及び、記載すべき成分項目の検査手配の段取りを進めていると同時に、沖縄国際航空物流ハブ活用推進事業の補助申請手続きを進めている。
- ・海外へ販路を拡大するためにはパッケージが日本語表記のみでは消費者への訴求力に欠け、販路拡大への大きな課題となっていたが、平成26年度内には新たなパッケージが完成する予定。
- ・海外市場拡大にあたっては、段階を踏むごとに新たに解決すべき課題が出現することが予測されるため、その都度相談に対応していく。